



(報道発表資料)

2022年10月14日

西日本電信電話株式会社 東海支店

ICT を活用した遠隔診療・見守りの実証によるスマートシティの実現 ～刈谷スマートウェルネスプロジェクトへの参画～

西日本電信電話株式会社東海支店（執行役員東海支店長：安部真弘 以下、NTT 西日本）は、スマートシティの取り組みの一環として、刈谷市において遠隔診療を目的とした ICT 活用によるフィールド実証（以下、本実証）に参画します。なお、本実証は愛知県スマートシティモデル事業※₁の採択を受けて実施するものです。

1. 背景と目的

全国的に少子高齢化が進む中、高齢化率が比較的低い刈谷市においても、健康づくりや医療体制の充実については市民の関心度が非常に高く、また、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年以降は、高齢化率の急速な上昇が見込まれています。急性期医療から介護・在宅までのシームレスな連携は、より快適に医療福祉サービスを受けるための重要な課題の一つであり、こうした状況を受け、NTT 西日本は刈谷市を含む実証関係者と連携し、スマートデバイスで取得したライフログデータを活用して、施設間の患者転院時等における患者情報の連携向上の効果、在宅における遠隔診療や見守りなどの実施による新たな患者・市民サービスの有効性について検証するため、本実証へ参画いたします。

2. 実証内容

睡眠センサーを活用し在宅高齢者等のライフログデータ（呼吸数・心拍数・睡眠覚醒）を日々収集（モニタリング）し睡眠（生活）状態・夜間離床周期を把握することで、日々の見守りならびに、睡眠状態の質向上などに対する課題と有効性を検証いたします。

実証期間：2022年11月1日～2022年12月31日（予定）

場 所：医療法人豊田会（刈谷豊田総合病院、刈谷訪問看護ステーション、高浜訪問看護ステーション）

※実証内容の詳細につきましては、【別紙】をご参照ください。

3. 実証関係者の体制と役割

- ・刈谷市企画財政部企画政策課：刈谷スマートウェルネスプロジェクト※2 代表
- ・医療法人豊田会：データ取得協力、在宅看護に関するノウハウの提供
- ・NTT 西日本グループ（西日本電信電話株式会社、NTT ビジネスソリューションズ株式会社）
：データ取得、分析、分析結果の視える化
- ・パラマウントベッド株式会社：睡眠センサーを活用した取り組みノウハウの提供
- ・NTT コミュニケーションズ株式会社：遠隔によるオンライン診療の取り組み支援

4. 今後の展開について

必要な医療や介護を適切に安心して受けられる地域医療福祉体制の充実に向け、本実証を通して在宅におけるリモート診療や見守りなど新たな患者・市民サービスの有効性について検証を進め、刈谷市が掲げるスマートシティの実現に貢献してまいります。



刈谷スマートシティロゴマーク

※1 愛知県 HP スマートシティモデル事業 刈谷市におけるモデル事業

(<https://www.pref.aichi.jp/site/smartcity-modelproject/2022kariya00.html>)

※2 刈谷市 HP 刈谷スマートウェルネスプロジェクト

(<https://www.city.kariya.lg.jp/shisei/machizukuri/1010158/1010160/1011356.html>)

以上

2 スマートデバイスによる遠隔診療 ⇒回復期から慢性期の医療分野のスマート化

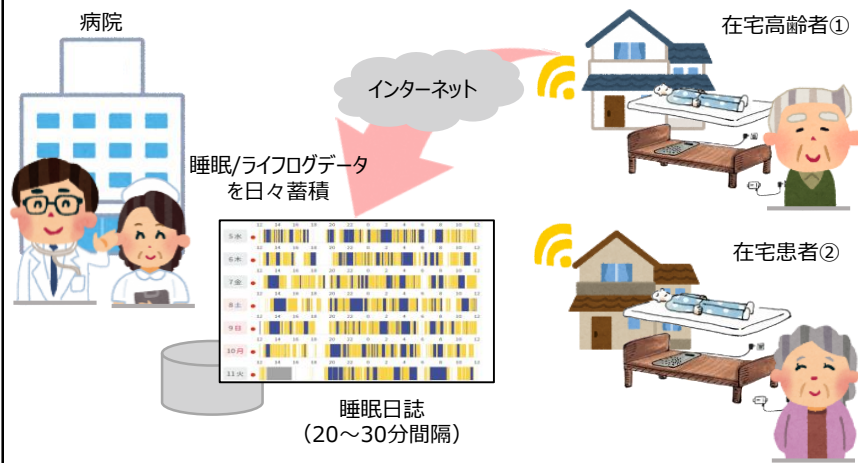
【概要】

病院や施設などさまざまな主体が市民の健康を支えているが、市民がより快適に医療福祉サービスを受けるためには、急性期医療から介護・在宅までのシームレスな連携が重要となる。
 スマートデバイスで取得したライフログデータ情報を活用して、施設間の患者転院時等における患者情報の連携向上の効果を検証するとともに、在宅における遠隔診療や見守りなどの実施による新たな患者・市民サービスの有効性について検証する。

【実証内容】

平常時

睡眠センサーによるライフログデータ取得と見守り



- 睡眠センサーを活用し、在宅患者の体調把握のため、ライフログデータ（呼吸数・心拍数・睡眠覚醒）を日々収集（モニタリング）
- 睡眠日誌により日々の見守りならびに、夜間に長時間ベッドに不在している患者・在宅高齢者などに訪問判断等を実施
 ≪対象シーン≫
 ①遠隔見守り
 ②睡眠状態のケア

≪検証項目≫

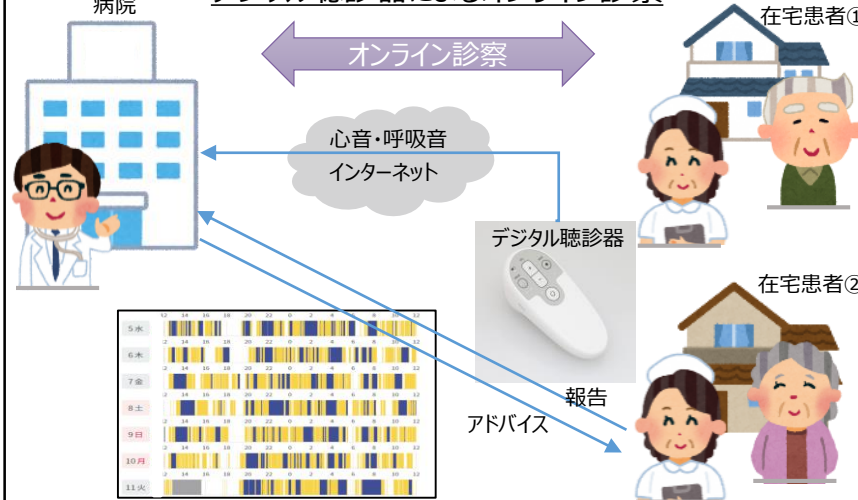
睡眠センサーによる体調把握ならびに日々の見守りに対する課題と有効性

≪使用製品≫

- ・Active Sleep Analyzer
 （提供元：NTT PARAVITA株式会社）

訪問看護時

デジタル聴診器によるオンライン診察



- 訪問看護時に、病院と患者宅をインターネット経由で接続し、デジタル聴診器を活用して病院に滞在している医師が遠隔で心音・呼吸音を確認しながら診察を実施
- 平常時に収集したライフログデータを活用し、訪問看護時以外の状態を把握することで生活リズムの改善アドバイスを実施

≪検証項目≫

遠隔診療の有効性
 在宅看護時の看護師の不安軽減ならびに間接業務の負担軽減の効果

≪使用製品≫

- ・オンライン診療システム スマートキュア
 （提供元 株式会社スマートゲート）

【実証期間】

令和4年11月1日から令和4年12月31日（予定）

【実証施設】

刈谷豊田総合病院
 刈谷豊田東病院（刈谷訪問看護ステーション）
 高浜豊田病院（高浜訪問看護ステーション）

＜実証の関係者＞

刈谷市企画財政部企画政策課
 医療法人豊田会
 NTTコミュニケーションズ株式会社
 西日本電信電話株式会社
 NTTビジネスソリューションズ株式会社
 パラマウントベッド株式会社